



おさかな瓦版

No. 59
2014.5

かわ みずうみ だい かい
シリーズ：川や湖のさかなたち 第4回

フナ



ふっくんのなんでもコーナー

かい なかま
カタツムリって貝の仲間なの？



にっこう さかなともり かんさつえん
日光 さかなと森の観察園だより

もり なか さん ぼ べんきょう
森の中を散歩しながらさかなを勉強しよう！

フナ ~ 古くから日本人になじみ深い魚 ~

フナは川や湖などにすむ、日本人にはなじみ深い魚です。近くの川でつかまえたことがある人もいないかもしれませんね。地域によっていろいろな食べ方があり、琵琶湖のふなずし

し(📷1)、長野県のすずめ焼き(📷2)、穴道湖の寒ブナの刺し身など、それぞれ地域の名物となっています。

日本で見られる代表的なフナを紹介しましょう。

- **キンブナ**
東北地方と関東地方で見られます。大きさはもっとも大きなもので15センチぐらい。寿命は10～15年です。川底にいるミミズや昆虫、藻などを食べています。



キンブナ

- **ギンブナ**
日本全国のほか台湾、朝鮮半島、中国にも



📷 1. ふなずし
【写真提供】
株式会社北びわこ水産
<http://www.kitabiwako.com>



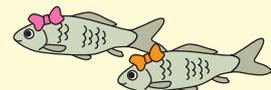
📷 2. すずめ焼き
【写真提供】「鯉西」(長野県)



あんじいの
ワンポイント
アドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

ギンブナは、ほとんどがメス!



ギンブナのオスはめったにいないのじゃ。でも、ちゃんと子孫を残すことができるぞ。多くの魚は、メスの産む卵に同じ種類のオスが精子をかけ、受精し、子どもが生まれるんじゃ。だが、オスが少くないギンブナの場合は、メスが卵を産むと別の種類のフナのオスが精子をかけて、その刺激だけで受精せずに子どもが生まれるのじゃ。生まれる子どももメスばかりなので、池はギンブナばかりになってしまいそうなものじゃが、実際にはそうではない。それがなぜなのか、水産総合研究センターで研究を進めているのじゃよ。

います。大きさはもっとも大きくて30センチぐらい。15～25年生きると言われています。キンブナと同じく川底にいるミミズや昆虫、藻などを食べています。キンブナのオスはとても少なく、ほとんどがメスです(🐠ワンポイント)。



ゲンゴロブナ



ギンブナ

●ゲンゴロブナ

もともとは琵琶湖にしかいませんでしたが、人が放流して今は全国にいます。ゲンゴロウという名前は、琵琶湖の漁師の名、魚屋の名が語源と言われています。大きなものは40センチを超え、寿命は20～30年です。ほかのフナよりも体の高さがあり、横から見るとひし形に見えます。キンブナやギンブナと異なり、水中にただようプランクトンを食べています。釣り魚として人気の高いヘラブナは、ゲンゴロブナを改良したものです。

●ニゴロブナ

琵琶湖とその周辺の河川だけにすんでいます。大きさは35センチぐらいで、寿命は20～30年。頭が大きいのが特徴です。大きなものはゲンゴロブナに似ているので、ニゴロブナという名前は「似五郎」ブナが語源と言われています。エサは主にプランクトン。琵琶湖の「ふなずし」はニゴロブナで作られています。



ニゴロブナ

【フナの写真提供】

キンブナ：群馬県水産試験場

ギンブナ、ゲンゴロブナ、ニゴロブナ：滋賀県立琵琶湖博物館



フナは金魚の先祖

世界中でペットとして親しまれている金魚は、千数百年前の中国で突然生まれた黄色いフナ(ヒブナ)が先祖。黄色いヒブナを飼育して、黄色～赤色の魚を選んで増やしたことから始まっています。今では世界各国でさまざまな改良品種が作られ、数百万円もする金魚もいます。

キンギョって、
むか～むかしは
フナだったんだあ～



ヒブナ

(写真提供：釧路市立博物館)



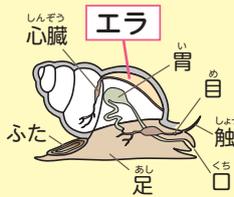
キンギョ(リュウキン)



Q カタツムリって貝の仲間なの？

A そうなんだ。カタツムリは、陸上にすむ貝の仲間（陸貝）なんだ。
 水中にすむ貝はエラで呼吸しているけど、カタツムリは肺で呼吸しているんだよ。
 多くのカタツムリのカラは「右巻き」なんだ。でも、東日本では「左巻き」のヒダリマキマイ
 マイも見られるよ。カタツムリを見つけたら確かめてみてね。

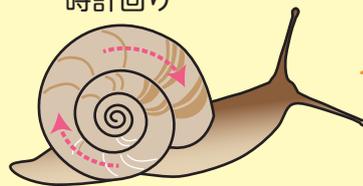
巻き貝



カタツムリ



時計回り



カラのてっぺんを手前に
 してみたときに右回り
 (時計回り)になっている
 のが右巻きだよ



日光 さかなと森の観察園だより

※切手の写真：6月に見頃を迎える園内のクリンソウ

森の中を散歩しながらさかなを勉強しよう！

「さかなと森の観察園」は日光国立公園の中、中禅寺湖のほとりにあります。標高
 1,280メートルの高地なので、日光市内より気温が5度ほど低く、涼しいところです。いろい
 ろな飼育池があり、ニジマス、ヒナマスをはじめ、湖などに生息している淡水魚が見られます。また、
 観察園は天然林に囲まれ、木漏れ日の中を散歩することもで
 きます。ぜひ遊びに来てくださいね。



▲緑が気持ちよい季節になりました ▲ニジマスも元気に泳いでいるよ



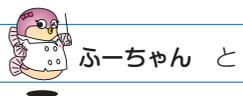
さかなと森の観察園

〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2482-3
 ☎ 0288-55-0055

★竜頭の滝のすぐ近く！



<http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/>



ふーちゃん と



ふっくん：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.59 (2014年5月発行)

編集・発行：独立行政法人 水産総合研究センター
 質問の送り先・お問い合わせ先：広報室

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3
 クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702
 ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のこ
 とでわからないことがあったら、広報室までハガ
 キを送ってね。＜聞きたいことの内容＞、＜学年＞、
 ＜住所＞、＜名前＞を忘れずに書いてね。ふっくん
 が「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



ギンブナ
 (写真：滋賀県立琵琶湖博物館 金尾 滋史)



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

リサイクル適性
 この印刷物は、印刷用の紙へ
 リサイクルできます。